

脳科学から見た認知症

～ その人らしさとはなにか ～



アルツハイマー型認知症になることに多くの方が恐れを抱いています。脳科学者である私も、母が認知症と診断されたときには、この先、母は「何もできなくなってしまうのか」「家族のことまで忘れてしまうのか」と不安に思いました。しかし亡くなるまで8年間家の中で母を見てきて、「その人らしさはなくなるはない」ということに気づきました。

認知症になったらどうなるのか？「その人らしさ」とは何か？母との生活の中で観察し、脳科学的に分析したことをお話しして、みなさんと理解を深められたらと思います。

講師：恩蔵 絢子 (おんそう あやこ)

脳科学者(学術博士) 東京大学大学院 特任研究員

日時：令和8年6月17日(水)

午後1時30分～3時30分(開場：午後1時)

会場：武蔵野スイングホール(スイングビル2階)

武蔵野市境 2-14-1 (武蔵境駅北口徒歩2分)

入場料：無料 当日直接会場へ(定員170名・先着順)

問合せ：武蔵野市老壮連合会 鈴木 090-7301-1989

武蔵野プレイス 30-1901 (水曜日休館)

共催：武蔵野市老壮連合会・武蔵野市教育委員会



老壮連合会 WEB



武蔵野プレイス WEB